

クラウド特集によせて

NECグループは、2017年に目指す姿を「人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現するグローバルリーディングカンパニー」というビジョンとして掲げており、その達成に向けてNECグループ全社員が日々努力しています。

このビジョンを現実のものとしていくためには、全世界の人が、ICT（情報通信技術）に基づく「サービス」を、使いたいときに自由に使える環境を整えることが必要です。例えば、利用者の方々が身近にある機器を通して、多種多様で便利なサービスを利用できること。また、企業は、その種類、大きさに関わらずICTサービスを柔軟に利用でき、多様なサービスを経営、業務に活用できること。更には、新興国や途上国においても先進的ICTを利用でき、教育や行政などでも利便性が図れること。そしてそれらのすべてにおいて、地球環境への負荷が少なく「地球にやさしい」こと。これらによって、世界の人々の生活や経済活動、社会活動にICTが貢献でき、持続可能で活力ある情報社会が実現されると考えています。そのためのインフラとなるのが、今回の特集テーマである「クラウド」です。

クラウドとは、ネットワークを通じて時と場所を選ばずICTサービスを利用するという、ICT利用の新しいスタイルです。

利用者の視点からは、初期投資の軽減によるROI（投資収益率）の向上だけでなく、新しいサービスの早期導入や、容易なアップグレード、場所や時間にとらわれないワークスタイルの実現など、多くの効果が期待されています。

ICTの視点では、クラウドとは、大量のデータを高速・安全に、そして安心してやり取りできる固定・移動のネットワーク技術や、サーバ・ストレージ・基盤ソフトウェア・管理ソフトウェアなどのプラットフォーム技術、更にはシンクライアントや携帯端末なども含めた端

未技術の融合したものであると言えます。

これは、30年以上にわたり、NECグループが標榜してきた「C&C」そのものです。現在、世界のICTベンダがITとネットワークの融合による新ソリューションの提供に取り組んでいますが、従来からこれら双方の技術を持ち、その融合に取り組んできた弊社にとっては、まさに我々の強みが発揮できる時代が来たと考えています。

NECグループは、利用者の皆様からの期待に応え、マーケットに貢献していく中で、この大きな流れをグローバル事業に育てるため、「C&Cクラウド戦略」を成長戦略として掲げ、実行を進めています。

2010年度のNEC技報第1号となる、本「クラウド特集」では、NECのクラウドシステムについての考え方、取り組みの全体像と具体的なソリューション・製品を紹介させていただきます。

ぜひ、ご一読賜り、今後とも皆様方の変わらぬご指導とご鞭撻をいただきたく、よろしくお願いいたします。



代表取締役執行役員社長

遠藤 信博